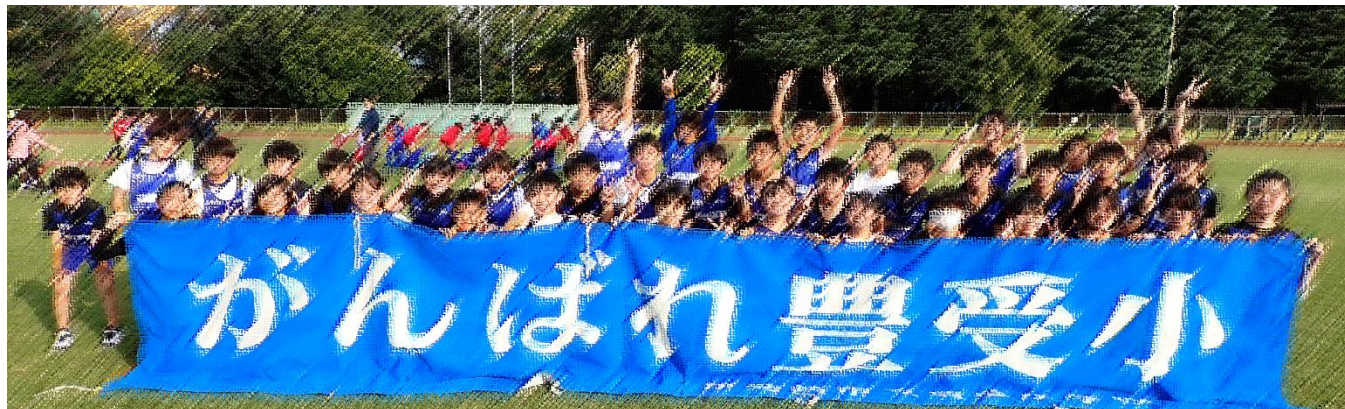




伊勢崎市陸上教室記録会 10月16日(水) 群馬県陸上教室記録会 10月28日(月)

雨の降る中の市大会でしたが、子供たちは練習してきた自分の力を発揮しました。また、県大会も時々小雨が降るなどめまぐるしく変化する天候でしたが、出場した3人は市の代表としてよく頑張りました。



5年生 稲刈り 10月24日(木)

5月の種もみ蒔きから始まった「米作り」もいよいよ収穫となり、うるち米を300kg以上収穫することができました。子供たちは大切に育ててきた稲を丁寧に収穫していました。種もみ蒔きからずっとお世話になった地域の方に心から感謝申し上げます。



生き方教室 6年生 10月23日(水) 3年生 10月31日(木)

「生き方教室」は様々な職業の方からお話を聞き、自分の将来について考える学習です。今回は6年生で学校薬剤師の先生と薬学部大学生をお迎えし、また、3年生では社会科の学習ともかねて消防士の方をお迎えして行われました。6年生では、「薬剤師免許は1度取得すれば一生有効」などのお話を子供たちは真剣に聞いていました。

また、3年生では、消防士さんの仕事や消防署での生活の様子を知ったり、消防服を素早く着る姿を見せていただいたりしました。子供たちは興味津々で、たくさん質問していました。



命を育む講座 6年生 11月1日(金)

助産師会の方が来てくださり、たくさんの具体物を用いて、自分が生まれてくるまでの奇跡や命の大切さについて教えてくださいました。保護者の方もご参加くださり、保護者の皆さんは「生まれてきてくれてありがとう」また、子供たちは「産んでくれてありがとう」と改めて感じる機会となりました。「生きてるだけで100点満点」の言葉が印象的でした。



大会名・種目・成績等			学年・氏名
群馬県陸上教室記録会	男子走り幅跳び	5位	6年
伊勢崎市陸上教室記録会	男子走り幅跳び	2位(県大会出場)	6年
	男子ソフトボール投げ	2位(県大会出場)	6年
	女子800m	2位(県大会出場)	6年
	男子100m	8位	5年
	女子ソフトボール投げ	7位	6年
	男子リレー	8位	6年
第43回伊勢崎佐波小学生剣道大会			優勝 5年
群馬昆虫の森 「虫の絵」学校代表	1年 大野 了	1年 澤山 渚紗	2年
	3年 栗田 愛咲	4年 下城 輝士	6年
伊勢崎市人権啓発ポスター優秀作品			4年
伊勢崎市民スポーツ大会兼第20回伊勢崎市長杯ソフトテニス大会 小学生Bクラス 準優勝			6年
第17回大樹生命ヒーローズカップ埼玉熊谷大会 伊勢崎ラグビースクール 関東大会進出			6年 6年
ユネスコ協会賞 絵画の部			6年
令和6年度ミニミニバスケットボール大会 伊勢崎三郷ミニバス 優勝			4年 4年 4年
JA書道・交通安全★スターコンクール 書道半紙の部入賞者	1年	2年	3年
	4年	5年	6年
JA書道・交通安全★スターコンクール 書道条幅の部入賞者	1年	2年	3年
	4年	5年	6年
JA書道・交通安全★スターコンクール ポスターの部入賞者	1年	2年	3年
	4年	5年	6年



男子リレー 8位 | 6年

上毛子とも新聞 週刊風っ子 扉を開くZIN 令和六年十一月掲載
耳の不自由な人助けたい 四年

手話教室に耳の聞こえない先生と通訳してくれる先生の二人が来てくれました。耳の聞こえない人と会うのは、初めてだったけれど教室は楽しかったです。いろいろ教えてくれました。たとえば普段の生活や外出の時に大変な事などを教えてくれました。耳の聞こえない人がいたら、助けたり、手伝ってあげたりしようと思いました。

手話を覚えるのは大変だけど、頑張って覚えたいと思いました。そうしたら、耳の聞こえない人がいても話ができるからです。耳の聞こえない人の苦労は知っていたけれど、教室で話を聞いて、よく分かりました。耳の聞こえない人の大変さや、つらさを忘れずに助け合えたらいいです。

上毛子とも新聞 週刊風っ子 扉を開くZIN 令和六年十月掲載
「こんにちは」と手話で話す 四年

手話教室がありました。そうしたら耳が聞こえない先生が来ました。耳が聞こえない先生は、いろいろな手話をしていました。こんなにたくさん手話があるなんて知りませんでした。一番心に残ったのは、生活を工夫していることです。目覚まし時計は、震えることで耳が聞こえない人を起こすそうです。チャイムは音が鳴るのではなく、光るそうです。耳が聞こえない人は、こんなに工夫しているのかと驚きました。

最後に先生にお願いされたことがあります。それは耳が聞こえない人には手話で「こんにちは」や「おはようございます」と話すことでした。耳が聞こえない人がいたら、手話で話そうと思いました。

上毛子とも新聞 週刊風っ子 扉を開くZIN 令和六年十月掲載
困っている人いたら助ける 四年

手話教室で手話を教えてもらいました。手話の先生は、生まれつき、耳が聞こえないと言っていました。耳が聞こえないと、話すこともできないし、私が普段していることもできません。たとえば友達と仲良く、楽しく、話せなかったかもしれない。それに私が大好きな歌を歌ったり、聞いたりでできないので、私だったらつらいです。

だから先生は諦めずに、いろいろなことに挑戦してきたんだと思います。私もたくさん挑戦したいと思いました。これからは困っている人がいたら、助けていきたいと思います。